

情報名:ミラノ 2K 2 コートソリッド補修塗装仕様書 [ブロック塗装]

補修塗装工程

旧塗膜の足付け



脱脂・清掃



カラーベース塗装



セッティング



クリアー塗装

作	業	内	容
---	---	---	---

塗装部分を、P600～P800 にて水研ぎ、または P400～P600 にて空研ぎする。

1. 塗装部をアートワックスオフメリットを含ませたウエスで拭き、濡れている間に乾いた清浄なウエスで拭き取る。
2. エアーブローを行いながらタッククロスを用いて塗装部を清浄にする。

塗装条件(PAC530 ガン)

パーツ1枚程度の小面積補修

	捨て吹き	色決め
吐出量	6 目盛り	6 目盛り
エアー圧	0.12MPa	0.12MPa
パターン幅	全開	全開
パターン重ね	5 / 6	6 / 7
ガン距離	25cm	15cm
運行スピード	50cm/秒	50cm/秒

ボンネットを含む大面積補修

	捨て吹き	色決め
吐出量	1-2 目盛り	1-2 目盛り
エアー圧	0. 2MPa	0. 2MPa
パターン幅	全開	全開
パターン重ね	5 / 6	6 / 7
ガン距離	25cm	15cm
運行スピード	50cm/秒	50cm/秒

※ 上記条件は、スプレーガンの状態により変わります。

1. 捨て吹きは均一な 1 枚のフィルムになるように塗装する。
2. 色決めは霧を充分になじませるように塗装を行い、下地が完全に隠蔽するまで塗装する。
3. 一度の厚塗りは避け、指触乾燥を待ってから塗り重ねる。
4. 2 コートシステムである為、大きな肌をつくらない様に注意する (肌があると、仕上り外観に影響します)

10 分以上(常温乾燥)

セッティング時間が短い場合には、クリアー塗装後の仕上がり外観が悪くなります

各種クリアーの塗装条件による

ミラノ 2K 2 コートソリッド補修塗装仕様書 [ボカシ塗装]

補修塗装工程

旧塗膜の足付け



脱脂・清掃



カラーベース塗装



(a)色決め塗装

(b)ぼかし塗装-1

(c)ぼかし塗装-2

セッティング



クリアー塗装

作	業	内	容
---	---	---	---

1. プラサフ部分を、P600～P800にて水研ぎ、または P400～P600にて空研ぎする。
 2. 旧塗膜を P1500 ペーパーにて水研ぎする。
 3. クリヤーをボカシ塗装するときは、さらに細目コンパウンドにてボカシ周辺部を研磨足付けしておく

1. 塗装部をアートワックスオフメリットを含ませたウエスで拭き、濡れている間に乾いた清浄なウエスで拭き取る。
 2. エアブローを行いながらタッククロスを用いて塗装部を清浄にする。

塗装条件(PAC530 ガン)
 小面積ボカシ補修

	捨て吹き	色決め
吐出量	3 目盛り	3 目盛り
エア一圧	0.06MPa	0.06MPa
ガン距離	20cm	15cm

大面積ボカシ塗装

	捨て吹き	色決め
吐出量	5 目盛り	5 目盛り
エア一圧	0. 1MPa	0. 1MPa
ガン距離	20cm	15cm

※ 上記条件は、スプレーガンの状態により変わります。

1. 捨て吹きは均一な 1 枚のフィルムになるように塗装する。
 2. 色決めは霧を充分になじませるように塗装を行い、下地が完全に隠蔽するまで塗装する。
 3. 一度の厚塗りは避け、指触乾燥を待ってから塗り重ねる。

1. 吹き残りの色決め塗料に、ほぼ同量のリアクターを加え、2～3 回薄く塗装する。
 2. ボカシ際のみストをなじませながら塗り広げる

1. 上記のボカシ塗料に、さらに同量程度のリアクターを加え、際の部分をなじます様に 2～3 回薄く塗装する。
 2. ボカシ際のみストが十分になじんでいない場合、クリアー塗装後にミストの影が目立つ場合があります。

10 分以上(常温乾燥)
 セッティング時間が短い場合には、クリアー塗装後の仕上がり外観が悪くなります
 各種クリアーの塗装条件による